

精神看護学Ⅲ 学習指導案 (プロセスレコードを用いたコミュニケーションの振り返り)

日 時：令和2年4月 日 ()

時限 クラス

時限 クラス

場 所：7階講堂

1. 精神看護学Ⅲ①② 演習 (総時間数4時間)

2. 本時の指導目標

- ・ロールプレイでのコミュニケーションをプロセスレコードで振り返り、精神障害者とのより効果的な関わり方を考える。

3. 本単元で身に付けたい資質や能力及び態度 (ねらい)

本学生らはこれまで、1学年で「コミュニケーション」でその基本と技術、「精神看護学概論」で心の発達、環境が精神に与える影響や危機状況の予防や対応について学び、二年次で「精神看護学Ⅰ」および「精神看護学Ⅱ」の講義を通して、主な精神疾患の理解、精神に障がいを持つ患者との関わり方や看護方法を学んできた。しかし、学生は精神障害者との交流を持つ機会に乏しく、本単元後に予定されている臨地実習において、精神障害者とのコミュニケーションに不安を抱いている状態である。

そこで、本時の演習を通し、精神障害者との関わりを、シナリオを用いたロールプレイで互いに患者・学生役を演じ、そのときに生じる感情・思考等、さらにプロセスレコードに記録し振り返ることにより、精神障害者とのコミュニケーションのあり方についての理解を深める事を目指したい。

(4) 準備するもの、教材について

- ① シナリオ事例 (患者用、学生用)
- ② プロセスレコード用紙 (グループワーク用：A4用紙 7枚×2クラス=14枚 予備数枚)
- ③ ロールプレイ環境 (ペアで実施する際のスペースの確保、各G イス2脚×7 計14脚)
- ④ ビジュアライザー1台 (グループ配置図の表示、グループ発表などで使用)
- ⑤ 7F AVボックスの鍵、マイク1本、プロジェクターリモコン、延長コード、RGBコード
- ⑥ メモ用紙、筆記用具、バインダー (各自で持参)
- ⑦ 授業前に精神看護学Ⅱの「プロセスレコード」を復習しておく。授業の際に講義の資料を持ってくる。
- ⑧ 学生の服装はポロシャツにトレパン、ナースシューズ
- ⑨ グループ振り分け表 (基本は6名グループ、演習前のオリエンテーションで提示)
- ⑩ グループで学生役、患者役は予め決めておいて演習当日までに教員に報告する。